

第2章 岩出市のスポーツの現状と課題

1 家庭・学校・地域の連携による体力づくり

近年、大人の体力づくりは体力低下、介護予防の面から筋力トレーニングやウォーキング、ランニング等に積極的に取り組もうとしている人口が増えつつあります。しかしながら、その腰を上げようとするまで時間がかかり過ぎているように思われます。

また子どもたちも、学校での体育の授業やスポーツ少年団活動等に取り組む以外にも、子どもが体力を向上させる機会は、生活の中に数多くありました。

家庭ではお手伝いなどがあり、外遊びは子どもの楽しみでありましたが、社会環境が変化し、生活の利便性により、身体を動かす機会が減少しています。

少子化により、外遊び仲間が減少し、群れながら遊びをするよりも、少数でできるテレビゲームなどの室内遊びを選ぶようになっていきます。

このことから、市民の一人ひとりのだれもが「気軽に・いつでも・どこでも・だれでも・そしていつまでも」を行っていくために、家庭・学校・地域の連携が必要です。

(1) 人口・世帯の推移

本市の人口及び世帯数をみると、平成18年4月に市制施行後も人口・世帯数ともに増加しており、平成26年12月末現在人口53,677人、世帯数21,715世帯となっております。

人口増加に伴いスポーツに親しんでもらえるような、空間作りが必要になってきています。

(2) スポーツ推進委員の役割

地域スポーツの振興のため、市民や各種スポーツ団体の中心となり、スポーツの実技やスポーツに関する指導・助言を行うとともに、市・スポーツ団体と連携をとり事業を企画立案し、希薄化しつつある地域の連帯感を見直し、地域のつながりを創り出すためのスポーツ振興を図っています。

(3) スポーツ指導者の養成

スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者協議会、体育協会加盟団体等、共通の目標を持ち、資質の高い指導者を養成しています。

(4) スポーツ少年団の育成

現在、岩出市スポーツ少年団は16団体所属し、スポーツを通じて、次代を担う青少年の心身を鍛錬し、体力を高め、青少年の健全育成を図り、各種

スポーツ大会を通じて世代間交流を図るとともに、指導者間交流も深め、連絡連携をおこなっています。

(5) 体育協会（各種スポーツ団体）の継続

現在、体育協会加盟団体数は、22団体が活動をおこなっています。しかしながら、岩出市の各協会の年齢層が高くなってきており、継続していかなければならない若い世代の加入を促進するとともに、創意工夫を凝らし、存続を図っています。

(6) 高齢者スポーツの推進

高齢者にとって、自分の健康状態に応じた無理のないスポーツを続けることは、介護予防、生きがいづくり、社会参加及び世代間交流のうえからも大切であり機会を増やすことが必要です。

(7) 障害者スポーツへの取り組み

障害のある方々に競技等を通じ、スポーツ活動の機会を拡充し、参加を促すとともに、指導者の育成も図っています。

(8) 学校体育の充実

小学校が6校、中学校が2校、11月1日現在、5,155名の児童生徒が在籍しています。子どもたちが自ら進んでスポーツに向き合う習慣を身につけることができるよう保健体育の授業や運動部活動をはじめ、学校の教育活動全体を通して育てていくことが大事です。

(9) 総合型地域スポーツクラブへの取り組み

総合型地域スポーツクラブは、住民が主体的に参画する地域スポーツの仕組みとして全国に広がっています。「多種目」「多世代」「多志向」を掲げ、様々なスポーツ機会を地域住民に提供しており、現在、岩出市では2クラブが活動をおこなっています。

(10) 施設整備及び有効活用

1. 市民の多様化するスポーツの要求に応えるとともに、利用しやすい施設にするために社会体育施設の機能維持・向上などの視点から、必要な改修に努めています。
2. 学校体育施設については、運動場や体育館を市民に開放しています。
3. 市民プールについては、7月、8月に開場しています。
4. 利用区分や利用時間など誰もが利用しやすいスポーツ施設の運営に努めています。